

地すべり防止工事士会の 研修会で多くの学び

10月27日、市内で新潟県地すべり防止工事士会の上越支部研修会が行われました。この研修会は、会員以外も自由に参加できることから、議員にも案内があり、平良木議員が参加しました。以下は平良木議員のレポートです。

研修は4人の講師による講演でした。最初は県の担当者による今年度の県の砂防行政の説明、次に糸魚川市のフォッサマグナミュージアム館長による「上越も危ない！地震災害のリスク」、3人目は新潟日報社論説編集委員による「取材から見える上越の魅力とチカラ」、最後は、妙高市の里山みらい会議座長による「里山のみらいを考える～世代を超えて～」という講演でした。

このうち、「上越も危ない！地震災害のリスク」では、太平洋岸の地震と日本海岸の地震の違い、地震のリスクや津波の危険性などがわかりやすく解説され、興味深く学びました。「上越は過去の地震の周期を過ぎており危険性が高い。海域にも活断層がある。直近の活断層の場合、数分で津波が到達する」といった説明には背筋が寒くなりました。

最後の講演で紹介された「里山みらい会議」は、買い物や移動など、失われていく生活機能を維持するために具体策を検討するために立ち上げた集まりとのことで、まずは人の言うことを耳を澄ませて聴き、答えは一つと思わずに否定せず、しっかり聞くことを心がけてきたということが語られました。

これまでの苦労が偲ばれるとともに、意欲的な取組に感動しました。

日本共産党上越市議員団ニュース
No.769 2022年11月6日
連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))



物価対策で緊急支援金の給付などを議決

10月31日に臨時市議会開催し補正予算を審議

上越市は10月31日に臨時議会を招集し、国の臨時交付金などを活用した物価高騰対策の補正予算を提案しました。

市議会は、これらの補正予算を審議し、いずれも全会一致で可決しました。

主な内容は、次の通りです。

- ① 住民税非課税世帯等に対して1世帯当たり5万円の価格高騰緊急支援給付金を給付する。(この件は9月30日に専決処分ですでに決定済)
- ② 市民税均等割のみ課税の世帯に対し、1世帯当たり2万5千円の価格高騰緊急支援給付金を支給する。
- ③ 子育て世帯への支援として、18歳までの児童1人当たり1万円を支給する。(下表)
- ④ 今年度の住民税が非課税の世帯等に対し、1世帯当たり5千円の灯油購入費助成金を支給する。
- ⑤ 一般公衆浴場に対し、県の支援制度を活用して燃料費の一部を助成する。
- ⑥ 中小企業者や農業者などを対象に、光熱水費・燃料費・原材料費の一部を支援するため、エネルギー価格等高騰支援金を創設する。
- ⑦ 新型コロナウイルスワクチン接種について、次のことを行う。

ア 1回目の接種を完了した12歳以上の市民に、オミクロン株に対応した「2価ワクチン」の接種を行う。

イ 5歳から11歳の子どもに3回目の接種を行う。

ウ 生後6か月から4歳の子どもに1回目の接種を行う。

18歳までの子どもがいる子育て世帯への支援給付金の内容

対象：高校生相当年齢(2004年4月2日以降生まれ)までの子どもがいる世帯。ただし、11月15日に市内に住民票があることが必要。また、来年2月28日までに生まれる子どもも対象。

所得制限：なし
支給額：子ども一人当たり1万円

＜支給の時期は下表の通り＞

区分	支給時期	対象者	対象予定 児童数(人)
申請不要 (プッシュ型)	令和4年 12月上旬	① 児童手当又は特例給付の対象となる中学生以下の児童	18,500
		② 上記①の兄弟で高校生相当年齢の児童	1,900
		小計	20,400 (72%)
申請必要	令和4年 12月下旬 以降支給開始	③ 令和4年11月15日から令和5年2月28日までに生まれた児童	400
		④ 上記①②③以外の対象児童 ・高校生相当年齢の児童 ・児童手当の所得限度額以上の児童 ・公務員世帯の児童	7,600
		小計	8,000 (28%)
合計			28,400 (100%)

審議では、厚生常任委員会でも平良木議員が、「今後生まれる子どもは、2月で切るのでなく、年度内に生まれるすべての子どもを対象にすべきではないか」とただしました。これに対して当局は、「市民感情を考え、柔軟に対応したい」と前向きに答えました。